



2021年12月



23期東海教区女性会
発行責任*金高美江子

23期 主題聖句



[詩編 119-105]

<巻頭言> 光延 博 牧師 富士教会、静岡教会（音羽町・ひかり礼拝所）

イエス・キリストを救い主と信じる者は初めの頃「この道に従う者」（使 9：2 前の訳「この道の者」）や「キリスト者」（使 11：26）などと呼ばれたりする他に、「エンクリストー（英語では in Christ キリストにあって・キリストの中に）」の者、という呼ばれ方や自己認識があったようです。私はキリストの中に生かされているという自己認識です。キリストは「道」（ヨハネ 14：6）そのもの。私たち一人ひとりはずべてこの道の上に、中に在ります。救いの神様から離れる場所はなく、神様と共なる神の国です。そのことをイエス様が現されました。



イエス様は赤ちゃんとして生まれられ、ありふれた日常、現実のただ中にある神様の救いを現すために来てくださいました。私たちも神様から来ました。その中で、泣いたり笑ったりしています。神様の中に存在し、神様のもとに帰ります。自分で計画して、生まれて来たのでも天国の生に入るのでもありません。神様のご意思で私たちはいます。あなたの生は神様の喜び。御慈しみの結晶。けれども私たちは創造主・救いの神様を見失う者、悩む者です。苦しい現実「これではいけない。こんな自分ではだめだ」と思うのが私たちです。そこに神の国が来てしまっているのです。

キリスト教作家の椎名麟三さんは受洗の後に、「ああ、これでオレは安心して、ジタバタして死んでゆける」と言われたそうです。死んでもゆける、安心してジタバタして生きてゆけるのだと。できないままに、弱いままに、神様が包み込んでおられる。慈しみ、肯定しておられる。「あなたはあなたであることこそがよいのだ」と。そこに私たちは今いる。弱さはマイナスではありません。神様の中にあるのだとそこでこそ教えられる、人と人とが真実につながる事ができる祝福です。

私たちを照らす救いの光、イエス様があなたの中へと、私たちの世界の中へと来てくださいました。だから、皆様、クリスマスおめでとうございます！

『 東海教区 地区便り 』

・ ・ 今回は 2地区 を掲載します

東静地区 5 教会

① 沼津教会

「女性会に寄せて」

向後の女性会は一人一人が老齢に至る道程をどのように対処しつつ、喜びをもって日々歩むことができるのか問われているように思います。

身体の虚弱、動作の緩慢、愛する人との永遠の別れ等失うことが多くなって行く中で、礼拝を自力で守ることがいつまで出来るのか、眼前に立ちほだかっています。



このような日常にあって試練や不安を抱きながら、すべてのことを主に委ねていくことで心おだやかな日々が備えられていることを信じているのですが……。

女性会においても今思案していることや、戸惑い困惑していることなどを傾聴し、話し合うことで少しでも前向きに生きる意欲が生まれるような例会を望んでいる一人です。

会長 一杉静子

② 富士教会

富士教会の礼拝は、月2回、木下海龍牧師の説教応援を得て守られています。その他の週は、東海教区教育部発行『教会暦による・信徒のための説教集』から福音書箇所該当する説教を信徒説教者（現在2名の交替制）が代読。年2回は東静地区説教交換プログラムにより秋久潤牧師（清水/小鹿教会）と光延博牧師（静岡教会）が説教奉仕していただきます。

緊急事態宣言下では木下牧師を東京からお迎えできないこともあり会堂での礼拝は自粛、各自「COVID-19撲滅のための祈り」や他教会礼拝LIVE配信等で家庭礼拝を守りました。

今後の対策を考え自粛下の今年9月、教会でインターネット環境を整備。会堂ではWi-Fi利用可に。10月、会堂での礼拝再開。31日宗教改革主日は木下先生に協力いただき、東京のご自宅からZoom利用で説教奉仕して頂きました。

普段から高齢化による体調変化や環境の変化から礼拝に来ることのできない信徒のために、牧師先生に作成して頂いている説教要旨を週報に掲載し毎月1回メール便で送付しています。会堂での礼拝自粛中も説教要旨は作成頂き全員に送付、信徒にとって支えとなりました。説教要旨は木下牧師に加え主任牧師の光延牧師にもお世話になっています。牧師の常駐しない教会ですが、諸先生方のご尽力のもと洗礼者や転入会者が加わり、共に礼拝を守る恵みを頂き過ごしています。



（文責：小谷由美子）

③ 清水教会

「清水教会女性会のいま」

私達の教会では、昨年より女性会の交わりを持つ事が出来ていません。皆でお昼の準備をし、おしゃべりしながらの食事会、「誕生会」のケーキ作り、又 小鹿教会女性会との交わりなど、楽しかった事をなつかしく思っています。

今は、礼拝も簡素化され讃美歌も歌いませんし、礼拝が終わると静かに帰途につきます。「緊急事態宣言」が出た時は礼拝も出来なかった（オンラインで行われた）事を思うと、直に牧師の説教を聞くことが出来、教会の皆さんと顔を合わせ元気でいられる事を有難く思っています。

不自由な生活でも神様のお守りの内にあることを感謝しています。施設にいる姉妹も気にかかりますが、一日も早く元の生活に戻れる事を祈っています。

大瀧清子



④ 静岡教会

主の御名を讃美いたします。

静岡教会はさまざまな理由により、15年程前から女性会を休止しています。又、昨年のコロナ禍で4月より、集まっての礼拝は度々休止になりました。日曜日毎に足を運び、共に礼拝を守り、笑顔を確認しながら会話をする。あたり前だった事がどれ程貴重だったか、思い知らされました。あらためて日常の大切さを痛感しています。そんな中でも、会員は電話やお手紙等で密に連絡を取り、親交を深めています。私自身、昨年5月に突然身近な家族が天に召され、茫然としていました。光延牧師、教会員の皆様の、深く力強く優しいお言葉、祈りに支えられて、日々を過ごしました。神様の元に一つの家族である教会の一員である喜びを強く感じています。しんどい時にしんどいと言える仲間は、かけがえのない宝物です。

二つの礼拝所を持つ静岡教会が、地の利の恵みを生かし、地域に貢献していく事、又、小さな集まりだからこそ、互いの交わりを大切にしていきたい。女性会については、中々集会を持つ事が出来ない現在、二つの礼拝所がある故の課題もあり、少しずつ相互理解を深め、検討を重ねていきたいと思えます。



「何事にも時があり、天の下の出来事は、すべて定められた時がある」（コヘレトの言葉）。

神様のお導きにより、又語り合い、祈りあう時が与えられますように、願います。

執筆：静岡教会 遠藤富美子

※現在はまだ女性会再開までには至っていません。再開を念頭に検討している段階です。

〈 光延牧師 〉

⑤ 小鹿教会

小鹿教会では、昨年度女性会として十分な活動ができなかったことを踏まえ、前年度役員が、今年度も任を続けますと申し出て、総会にて了承されました。しかしながら、今年度も新型コロナ拡大のため女性会活動がほとんどできませんでした。4回の聖書研究のみでした。(12月を含む)女性会として会員の皆さんに発信することもなく時を過ごしてしまいました。教会の礼拝が再開されやっと皆さんと会えてホットしている状況です。



11月から久しぶりに女性会も、聖書研究を開くことになりました。様々な感想や、質問が導き出され有意義な時を持つことができました。そこで得たことは、共に祈り、聖書を読み、学ぶことは、各自の信仰のためにとっても大切なことではないかと思いました。

小鹿教会 鈴木暁美

岐阜尾張地区 7 教会

① 大垣教会

大垣教会女性会紹介文

大垣教会女性会は毎月例会での聖書の学びを特に大切にしています。当番の会員による聖書研究が行われ、その後参加者で活発な話し合いがもたれます。信仰の分かち合いに心が満たされるひと時です。

年一度の「特別女性会」は外部からの講師をお招きして、環境問題や教育問題など、私達が直面する社会に目を向けた学び会を行っています。また年に二度ほど「訪問活動」として、教会の礼拝に来られない会員の方々をご自宅や病院、施設などに訪問する活動も続けています。み言葉のカードやお菓子をもってお訪ねする私達の訪問を心待ちにしている方も多くおられます。



あゆみの家のグループホームとの交わり会やクリスマス会などの企画や実行など、自分たちのできる奉仕を無理なく喜んで続けています。神様のみ言葉に深く養われ、隣人への奉仕の働きへと押し出されて行く、前向きで力強い女性会だと思っています。

会長 齋藤末理子

② 岐阜教会

今年もまたコロナ禍の中、皆さまの教会でも感染予防対策・対応などご苦労されたことと思います。岐阜教会では、日曜日の礼拝は集まることができましたが、まん防や緊急事態宣言の折には週日の公的集会はお休みになりました。

そんな中、毎月第3日曜日の女性会例会は短い時間でも聖書の学びや信仰の分かち合いが続けられたことは励みと平安を与えられる時になりました。

また毎年行われている世界祈禱日も岐阜地区ではそれぞれの教会で、ということになりましたので、私たちは3月の例会を世界祈禱日とし礼拝しました。

岐阜教会では「わたぼうしの会」という女性会有志のお仕事会の活動が月1回あります。午前中の2時間ですが、コロナ禍ではあるものの、この会は毎月続けてきました。

今の活動は、神学校の「献身者を求める祈り」を覚えて、全国の教会で用いてもらえるよう十字架の作品を作っています。細かい作業をしながらだんだん仕上がってきています。「十字架のなやみは、わがつみのためなり」という歌詞が教会福音讃美歌（新聖歌 108 番）にあります。私はいつもこの讃美歌を口ずさみます。そして、神学生の方々が牧師となり伝道の道へと進まれますが、十字架の真理を正しく伝えていかれるよう祈りながら作業をしています。

今はコロナ感染者も減少経過にありますが、まだまだ先の見えない状況の中、また皆さま方と集える日が来ることを祈っていきたくと思います。



岐阜教会 栗本雅子

③ 高蔵寺教会

高蔵寺教会では、コロナ禍でも一度も礼拝を休む事なく、続けてきました。風通し良く換気できる環境が整っていること。それぞれが感染予防への意識を持っている事。等々、様々な条件が整い、主のお導きに従い礼拝を行って来ました。

2年前から復活教会と兼牧となり、隔週で信徒だけで行う信徒礼拝を行っています。奈良部先生が作って下さった説教を代読するのですが、聞いている時とはまた違う角度から、みことばを理解する事ができ、より深く理解できた気になり不思議です。

学校でも職場でも、距離を取りましょう！ソーシャルディスタンス！と叫ばれています。そんな中、それぞれを思いやり、心の距離を離さないようにと意識する。教会は癒やしの場所となっています。

10月、11月には、3回（教会バザー）を行いました。タラントを持ち寄り、充た。ケーキ作り販売、『ブワークショップ』や『ヨ』した。

これから、世の中でど達にはわかりませんが、ま、歩んでいきたいと思っています。



に分けてミニフェスタした。信徒それぞれの実した一日となりましてリザーブドフラワーのガ体験』なども行いま

んな事が起こるかは私主を信じ、導かれるま浅井道子

④ 復活教会

コロナ感染拡大状況の中、たまたまあるTV番組の中で、詩編91編が読み上げられた。復活教会は、この91編のみことばがぴったり当てはまるごとく、神様に守られた教会生活を送ることができている。

信徒は誰ひとり新型コロナに感染することなく、健やかに過ごすことができている。持病のある方もいらっしゃるが、それぞれ適切な医療機関で適切な手当を受けることができている。

緊急事態宣言下、一度だけ礼拝堂の扉を閉じた日曜日があった。私は自宅で先に配布された説教原稿を読み、他教会の配信している説教動画を見て祈りを捧げたが、あとで聞くところによると、ひとりで会堂を訪れ、聖書を読み、賛美歌を歌い祈りを捧げた信徒もいたということである。

女性会を中心に食事会を大切にしている復活教会である。このことも工夫をしながら続けた。「僕は礼拝は休みません。このような時だからこそ、みことばの取次をしていきます。」という主任牧師の奈良部先生の熱き信仰が、信徒ひとりひとりの信仰を燃え上がらせて下さっています。

『神は羽をもってあなたを覆い、翼の下にかばって下さる。神のまことは大盾小盾。夜、脅かすものをも昼、飛んでくる矢をも、恐れることはない。暗黒の中に行く疫病も真昼に襲う病魔も』詩編91編4～6節、すべてのことに感謝いたします。

書記 服部典子

⑤ 名古屋めぐみ教会

緊急事態宣言が解除され、私たちの教会でも配信による礼拝から配信と共に一堂に会する礼拝が再開されました。

今まで当然のように思っていた教会での礼拝が出来なくなった時に、初めていろいろなことに気づかされました。共に礼拝堂で聖書のメッセージに触れながら教会の兄弟姉妹の息遣いを感じることで、お互いの体調や心の変化に気付き、声を掛け合える幸せ。コロナ禍で一人暮らしの方は特に辛い日々を送られているのではないかと案じつつ、共に礼拝にあずかっていた事はなんと尊い事であったか。

やっと緊急事態宣言が解除となっても高齢者が多い事もあり、女性会定例会は再開できていませんが、それぞれの女性会員が自分で今できることを見つけて行っています。

闘病中の方にお見舞いのカードを書いたり、有志によって訪問したり、礼拝堂の清掃やアルコール消毒を続け一日も早く以前のように女性会定例会が開催できるのを祈りつつ日々過ごしています。

まだ今は私たちができることは限られていますが、主が示してくださる時を待ちながら、女性会のみんなの手を携えて前に進んでいきたいと思えます。

女性会書記 浦野静枝

⑥ なごや希望教会

教会・女性会の近況報告

名古屋市にある私たちの「なごや希望教会」は2020年3月に新会堂が与えられ、3つの会堂が一つとなり、新たな気持ちで共に礼拝に与っています。その落成式が行われた頃から、コロナ感染が拡大し始めました。でも、新しい礼拝堂の椅子は個別の椅子なので、一つ一つの椅子の間隔を開け、十分なスペースを取って椅子を配置し、また、入り口ドアや窓をなるべく開けて換気を良くし、一度も礼拝を休むことなく守ることが出来ています。また、コロナ禍やその他の事情で礼拝に参加できない方のために、礼拝が始まると同時にユーチューブでのライブ配信を行い、共に礼拝に与ることができるよう配信しています。また、礼拝後には「カフェ・ド・エルピス」という名のカフェ



を開き、ドリップコーヒーやハーブティを楽しみながら、交流できる場を設けています。

女性会では月に一度の例会を持ち協議事項を共に話し合い、その時々のお知らせや、教会に来られない方の近況を報告し、そんな方々には暑中お見舞いや、クリスマスカードに寄せ書きをして送っています。



また、併設しているルーテル幼稚園に入園する園児のために、ポシェット・ランチョンマットやエプロンを制作して納めています。コロナ禍のため、今年予定されていた連盟総・大会をはじめ、教区の「女性会の集い」な

どが中止となっていますが、私たちの教会内での活動は、以前と変わらず継続できていることに感謝です。

なごや希望教会 真木雅子

⑦ 知多教会

知多教会女性会は正会員7人ですが、数人の方々が時々加わって集まっています。以前は礼拝後、一緒にお弁当を食べて始めていたのですが、コロナ禍の今は食事無しで30分程度に短縮し、礼拝堂で行っています。三密を避けた形で前を向いて座り、対する司会者は、一人机にアクリル板を立て話すことに。色々な活動が出来ない中、会報による御言葉の学びを中心に行っています。それぞれの感想を語り合い、互いの親交を深めています。第三日曜日の礼拝後に行っています。



知多教会は高齢化の渦の中にあり、これからの事が心配になりますが、そんな中だからこそ先ず御言葉の学びが大切と思います。現在齋藤幸二牧師が、2泊3日（金・土・日）で来て下さり、精力的に御言葉の学びの為労して下さいます事、感謝に堪えません。毎金曜に祈祷会、月2回礼拝後に学び会をして下さっています。土曜に戸別訪問も出来る予定が、コロナに阻まれていましたが、先日の土曜には、コロナ激減化に伴い一人の姉妹のお宅に出向き、訪問聖餐をなされた事とても感謝な事でした。彼女は長年C.Sの先生



として労され、祈り深い方でしたが、ご高齢になり眼もご不自由で出席が叶いませんでした。女性会でも、これから訪問など外への働きかけもしていきたい。今年の知多女性会の主題聖句は箴言31:26です。キリストの体なる教会に仕え、

「ほほえみながら後の日を待つ」群れでありたい。
会長 磯村和子

久々に、連盟拡大役員会開催される！

時：2021年11月22～23日 場所：一般財団法人JEL A 東京都渋谷区恵比寿
参加者：小勝奈保子牧師、連盟役員4名、教区会長4名、協力委員ACWC J1名

NCC1名、
連盟事務局2名



JEL A 古屋四朗理事長（後部中央）を囲んで記念撮影

＝話し合いの内容＝

- ・サバ神学院について 今年39万2千円送金予定です。年々減少傾向にあり、どう支援の継続をしていくか課題です。
- ・各教区のあり方 各教区の現状と課題を共有しました。前期で会費全納されており、役員会の活動がスムーズに行えている。
- ・協力委員との連携について ・連盟の方向性
- ・今後の具体策の確認 ホームページの活用を進める。



教区会長 左から東 東海 西 九州地区

*詳しい内容は2022年1～2月頃、連盟「ひびき」に掲載予定です！

[編集後記]

今回の2号は、東静地区・岐阜尾張地区の教会からの近況をお伝えしました。次号では、駿遠地区・三遠地区からの便りをお届けしようと思います。

- ・2022. 1月29日（土）教区女性会の会計監査を行います。於：浜松教会
- ・2022年から岡崎教会が休会になります。



コロナのオミクロン株がニュースで報道されています。オリンピックの頃のように、感染者が増えない様にと祈るばかりです。感染に注意して、来年こそ礼拝や集会がより多く行えることを願っています。（金高記）